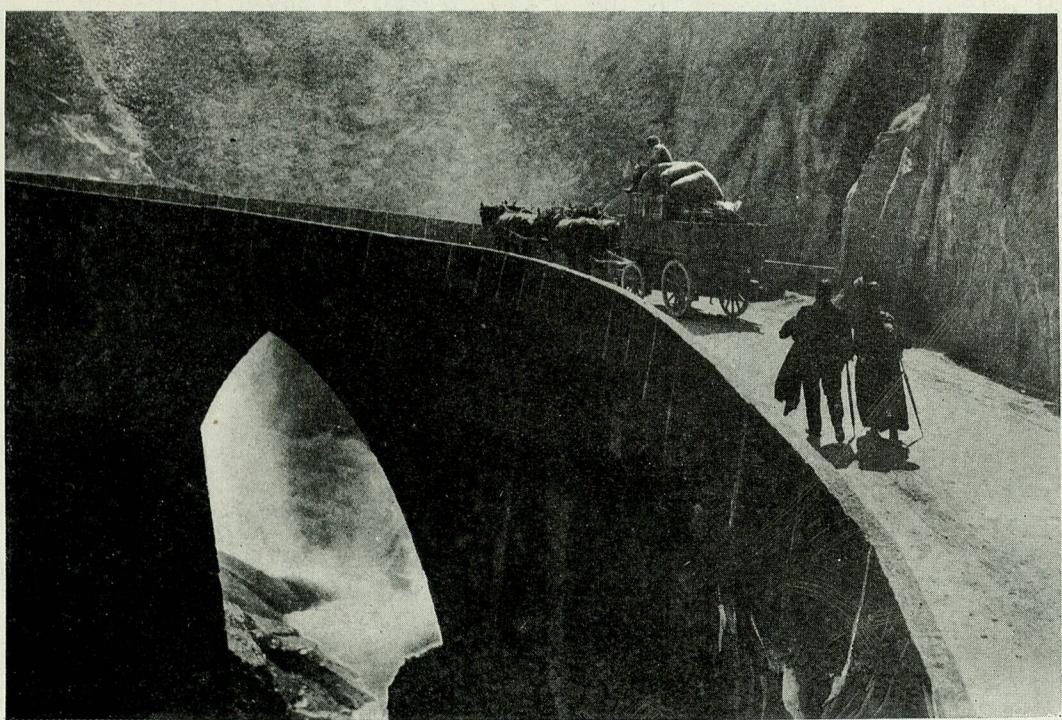


道鐵山登
にめたみ笠にスプルアてつ従け聞くよが道鐵山登はらかスイウスで位るれはいとだ番一がのろ笠らかスイウスはにスプルア
。つもなめ眺みか飽に實はに景風のら、この橋鐵たれらけかてつ切横を谷溪で道鐵山登るけおにグルブスエチロは圖。い多に當相も入る來



橋の魔惡のドルタゴ
投を身に、二度一。るえ聞がび叫ぬれ知もとえ聲の上地はらか谷溪のルトーメ十數下足ろこるぎすを途半の上橋
。るみてじ通が道鐵山登いしら晴素はに谷溪のこ他のこたまるじ通も車馬で道山のドータッゴ。ふいもといなれば現てし洪は體のそはのもたげ



ノーロン河の流注する湖

し夥が水電融の地山スブルアは交の夏春。るあで河入注要主るす養殖を湖のこで河大るす流貫を湖ンマレは河ンロ。ぐ注流渦の河ンロ

。これら見にか明がるみて布瀬の水濁してしなた扇く廣はに水面の碧緑とくし苦難の地横冲は口吐のそでる來でん運を土泥い

六、湖沼

スイス概說

スイスは西歐の中央に當り、交通の便よく開けてゐるため、秀麗なる山岳と、風光絶佳なる湖沼とを訪ねて集まるもの、毎夏幾千萬なるを知らず、實に全國が一大公園の感がある。ことにそれ等の湖畔には、優秀なる旅館や、湖上遊覽船などの設備が、世界中に稀に見るほど完備してゐる。また二三の小湖を除いては、次アルプスの大湖は、立派な遊覽船が一日に幾回となく定期に航行し、湖畔住民のためには、物資の運搬にも多くの運送船が活躍してゐる。レマン湖の如き二箇國に跨がる湖ではその商業に從事する船もある。

湖中には幾多の魚類を産するので、漁業もまた相當盛である。そして大旅館の食卓をも充分に賑はしてゐる。また湖で淨化された水は、到るところへ引水して飲用にも利用されてゐる。

湖沼はその附近の氣候をよく調節するので、湖畔は人類の住居に最も適したところである。それ故人口は湖畔に密集中し、湖を遠隔するに伴ひ次第に稀薄となる。フォーレルがレマン湖畔における研究は、これをよく證明してゐる。また私の常に唱へる「湖の受水區域内における最大聚落の發生すべきところは排水口で、その實例は大湖沼に、最も多いのである。ジユネーヴ、ツウン、ルツェルン、チューリッヒなど何れもこの例に漏れない」。

湖沼の人類に及ぼす影響もまた大なるものがある。カルヴイン、ツヴィンガリーの輩が宗教革命を叫んだのは、實にこの山紫水明のレマン湖である。學者の深遠なる大研究發見、或は文豪、詩聖の傑作に湖沼の影響

の多いことは否み難い。
スイスの如き自由を尊重する國では、世界中の政界の浪人者が好んで集つて來るものも偶々事ではない。その結果は革命運動は、湖畔に起るといつてよい。かの革命兒レニンの如きも、ジユネーヴー滯在中、大企畫をなし、機熟して自由奔放に湖沼の感化を表現したのである。

また玲瓏玉の如き
淨水を湛ふるフィー
ルワルトステッテル
(四國湖) 湖畔にベル
ベシヤ聯邦建国の基
となつた三洲協約の
成立を、指摘しなけ
ればならぬ。

「眞に、これ湖盆の
集合點に、水の聯
盟が行はれたるに過
ぎずと、誰かいはざ
るものあらんや。」と
叫んだ、前世紀の地
理學者、エリセ・ル
クリウの言葉は、ま
ことに意を得たるものといはねばならない。

スイス次アルプス湖沼

次アルプス湖沼の成因は、既にイタリヤ篇において述べたから、こゝでは改めて述べることを避ける。そのスイスにおけるものは、アルプス山系北斜面の前山地方に集中してゐて、その大部分はライン河の水系に

屬してゐる。たゞ、僅にレマン湖のみは、その位置がスイスの最西に位してゐるため、今日ではローレン河の流路に當つてゐる。が、これも古い地質時代には、ライン河の一支流に横ばつてゐたのである。

湖盆の地形



湖でんす、たに畔湖がいなもでさふいはとこいし美の景風の近附 畔湖ンマレ

ブリエンツ湖(最大深度二六一九メートル)より、下流のツィーゲ湖(一九八メートル)の川筋では、モナール氏の説に反するものは、一般的大型の湖では、モナール氏の説によれば、上流の作用の中心に遠隔するからである。一、二例を擧ければ、

今ライン河水系にあるフィー
ルワルトステッテル湖一群
の湖沼を見ると、次アルプス
の湖沼が如何に氷河堆積物によつて堰止生成せられてゐる
かよく判る。一つの川筋に
これ等多くの湖沼が、連珠状
の川筋は昔の氷河の存在した
跡で、モナール氏の説によれば、上流の湖より下流に向
ふに従つて、湖の深度は減少
してゐる。これは漸次に氷河
作用の中心に遠隔するからである。一、二例を擧ければ、



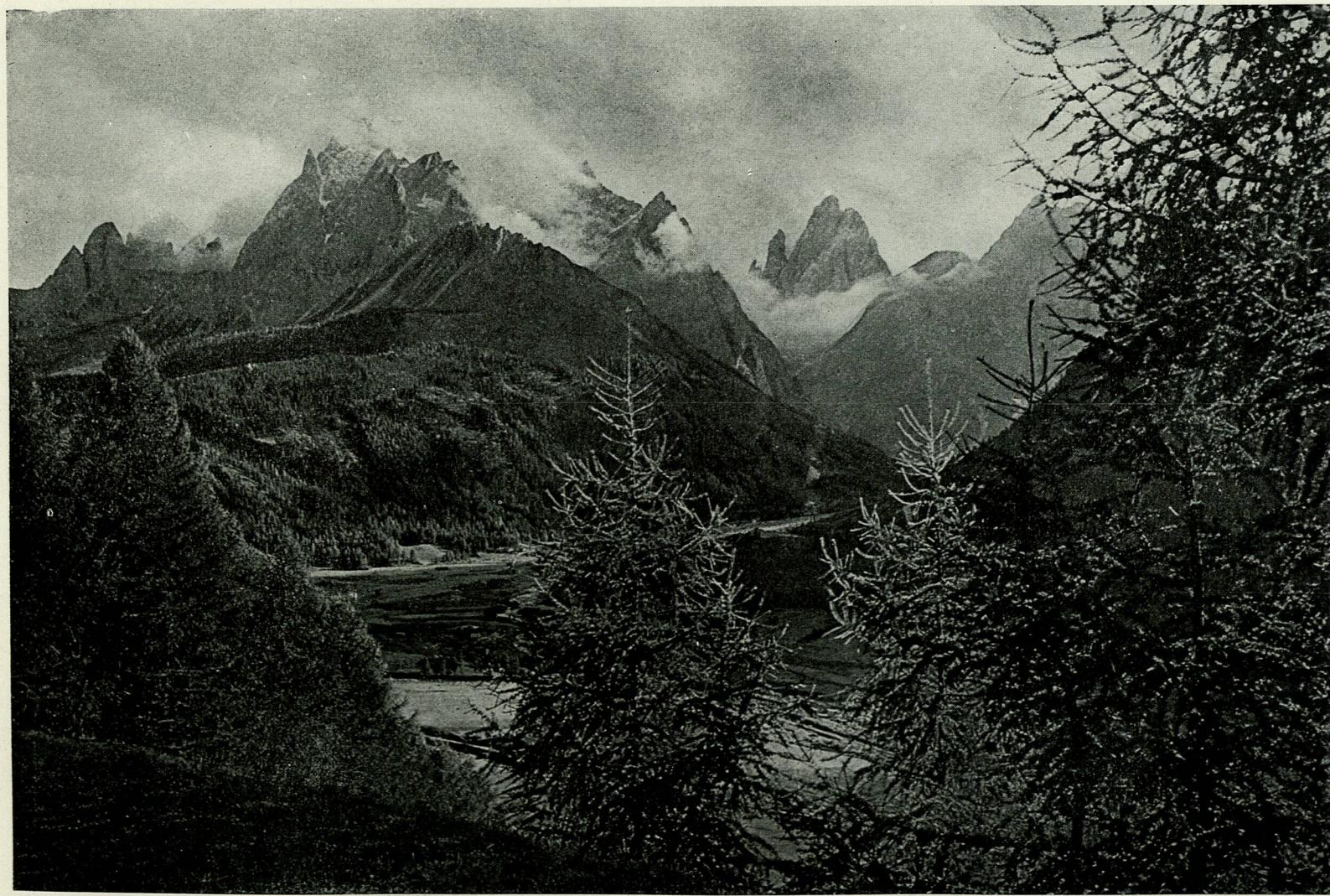
湖ヴーネュ
邊てつませは暮夕。るみてれらけつが艤に側兩央中で船本な未詔なうやるみくよもで本日は舟小をれらげあきひに濱湖
守を黙沈てし殘を普餘の祿神にか静くとごの鏡は面湖に中の氣空い重の夜い暗小が。ぐ急に路家に肩を綱は夫老きゆてれ暮くし寂は。

てゐる場合には、上流のものより、下流のものが浅いといふことを確めてゐる。
次にスウェイズ次アルプスの湖沼中、その面積一〇方キロ以上のものを掲記する。

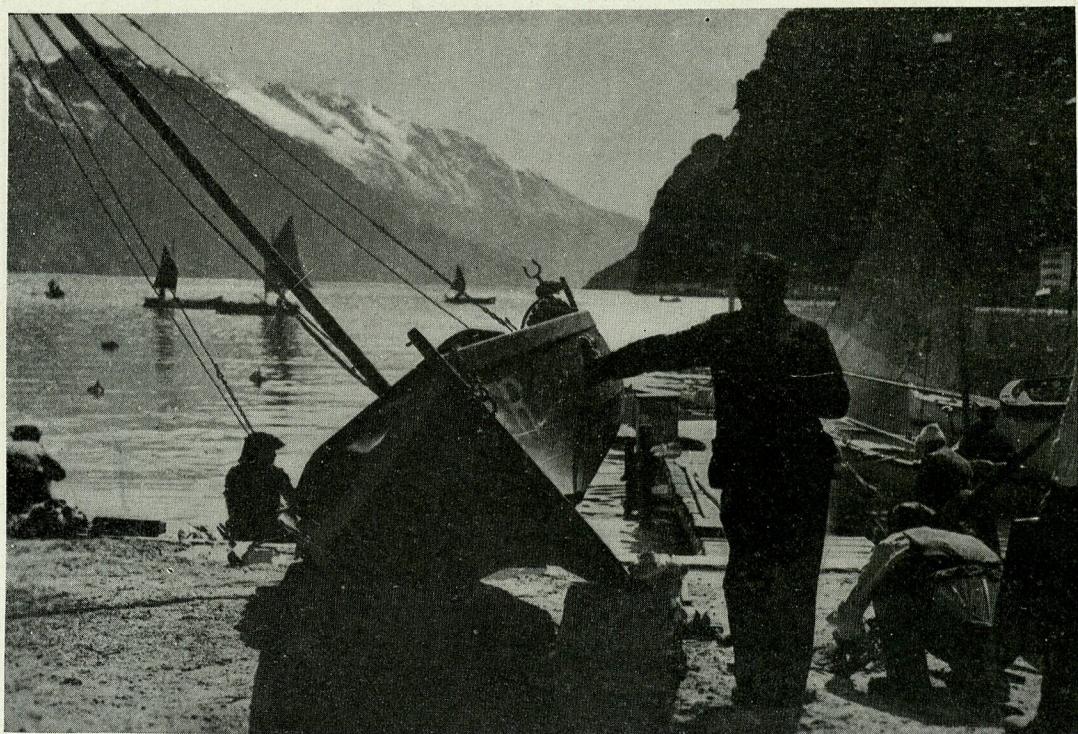
	海拔高度 メートル	面積 方キロ	湖岸線 キロ	最大深度 メートル	平均深度 メートル
レマニ湖	三五五	二四三	二五・四	三一〇	一四・四
ニューシャテル湖	四七七	二五・八	一七〇	一四〇	一四・〇
モラ湖	四七七	三一八	三〇	四六〇	三〇
ピエンヌ湖	四七七	四一八七*	四〇〇	一四〇	一四・〇
ブリエンツ湖	四七七	元・六	五〇	四六〇	元・二
ツヴァン湖	四七七	四七・六	一七〇	一六〇	一六・〇
バルウイール湖	四七七	二〇・三	三五	三五〇	三五・〇
セムバハ湖	四七七	二三・八	三五	三五〇	三五・〇
フィールワルトステッテル湖	四七七	二三・八	四〇	三七・二	三七・二
ツヴァグ湖	四七七	二三・八	四〇	三七・二	三七・二
ブアレン湖	四九九	二三・三	四三	三七・二	三七・二
チューリッヒ湖	四九九	二三・六	四三	三七・二	三七・二
内島地面積 一・空方キロあり					

スウェイズの湖沼は、上記のものの外數多あるが、その大なるものは聯邦政府陸軍地形測量局の手で深度鉛測が行はれ、またレマン湖はスウェイズのボルンリマンと、フランスのデルベック兩氏が鉛測し、立派な深度圖ができ上つてゐる。そしてその地形圖の巧妙なるに加へて、湖沼の深度まで描かれて、世界中他に比見ない明細なものとなつてゐる。實に羨しい限りである。なほそれ等の湖沼の研究も著しく進み、これまた他の追隨を許さぬものがある。

殊にフォーレルが、その故郷であり、住居であるレマン湖における三十一年間の研究は、實に素晴らしいもので、これによつて湖沼學は創始せられたのである。三十年間の研究は、浩瀚なるレマン湖論文三卷となり、



ならきもき引はのるす旅に、こてれ檻に色景の、こてれま恵にでまきなく飽に谷鎗・崖断・峯裂・峯尖は、こ。るあでろことな名有てつよにとこいよの色景るあにスブルア東はテミロド
。それはいといな見を例比に他觀壯のそてし絶に語言どん殆は觀美の時た見で中山に特をれこで麗絶に貢がるへ興を害被に等線信電はで會都れはいもと冰雨は冰樹。るあでろことたい輝り光に冰樹は圖。い。



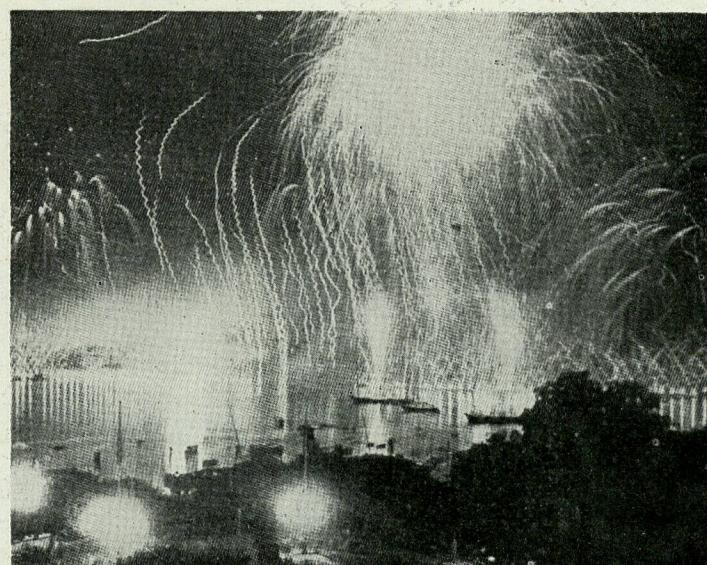
景たしつうを影のそに面湖。されはいと人萬百數は々人れ訪らか國各にゝこりあが水湖いし美もにこど中國はスイウス び 遊舟
。るおてれはらあが俗風の邊のこくよに影後の人村つまを帆歸てひ浴を陽タ。るあてつ保を和調くよてし在點に中の景國の然自大は色

その學説は
今なほ、湖
沼學にしはす
もの至寶となつてゐる。

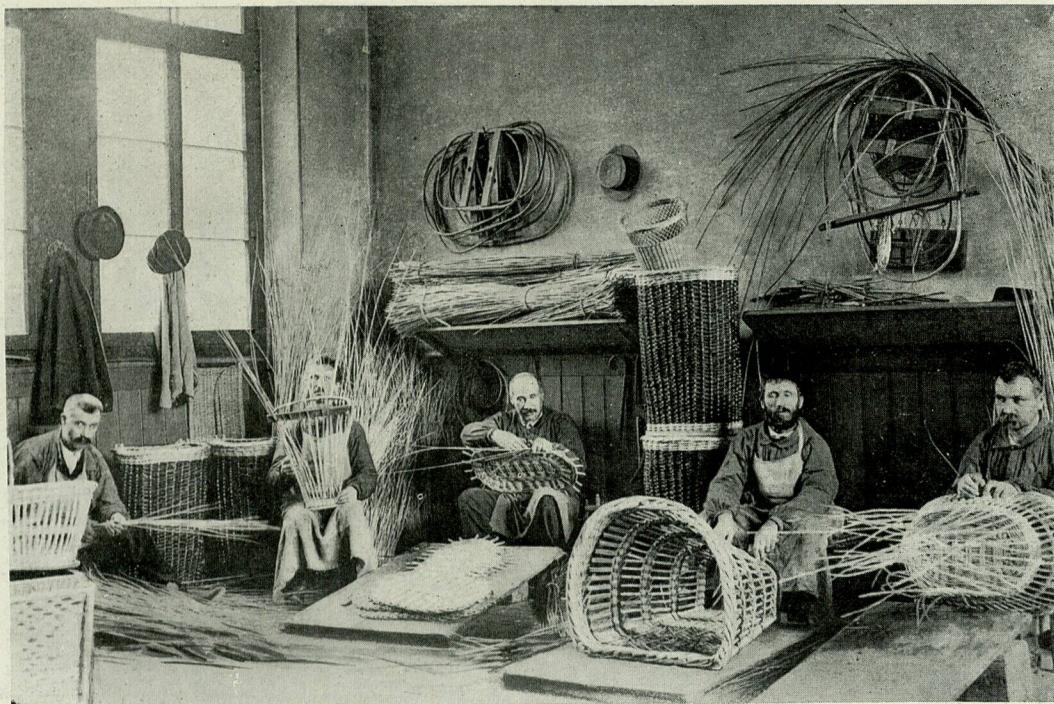
水位と定常波

スイス
の次アルプ
ス湖沼には
特有なる水
位の年中變
化があつて
その標式は
式として知
られてゐる。

簡単に説明すると、次アルプスの大湖沼は、その受水區域
が、一部は氷河の少ない山地にあり、また一部は平野に存在してゐる。
そして平野は冬季降水多けれども、氣温寒冷なるため積雪として存し、
従つて注入水を減じ水位を低下するが、春日漸く温たまるころにはそれ
等の積雪は一時に融解を始め、著しく水位を上昇せしめる。そして六
七月の頃最高水位に達するのである。なほ秋季の豪雨も、また屢々著
しき高水位を示すのであつて、この適例はフィルワルトステッテル湖な
どに求められる。またレマン湖は冬季に最低水位を示し、春季に増水す
るが、夏季において最高水位に達し、また秋より冬に向つて低水位を示



あでつーの事行中年たれらねかち待とられま包に暗の夜が湖ガーネュ五 月五 夜の火花
。るあで綺美いし晴素は糸の火の繁キ黄赤の散と花に面湖 ふるへかきわ町に「夜の火花」



業失てま込捲に流渦の業工械機でして々活はてばす。るあでろことな盛が工細びけあの等籠やトッケスバはで方地ヌンザーロ。工細びけあ
る。ゐんでん編を籠と々獸も日今てしそ。いなき合ちもは安不なうやきはに事なひ革は者業工手いなの地餘の略變の業工械機がいし喧々愈は題問

すのである。これはレマン湖が、高山の氷河の融水を受けるからで、注入河ローンの上流は幾多の大氷河が、常に銀色に輝いてゐるのである。また、レマン湖の漁夫は、静かな日でも、水位が周期的に上下することを古くから知つてゐる。これは定常波でセーシとよばれてゐたものである。それは何れの湖沼にも存在するのであるが、大型の湖沼ほどそれがよく現はれる。また小型の湖でも、気圧の變化の大なるとき、または風の強いとき、或は地震のときなどにときとして著しく現はれ、湖畔住民を驚かすことがある。そしてその状態は湖岸線の單調な湖では、湖の一端の水位が上昇すると、他の一端では下降する。次にはこの反対の現象を呈し、これを周期的に繰り返すのである。レマン湖の如きは實に規則正しい定常波があり、その振幅も相當大である。けれどもフィルワルトステッテル湖の如き複雑な水面では、兩端の上下が各支灣で行はれ、かつそれ等が互に重なり合つたりなどするため、その定常波もまた極めて複雑である。

水色及び透明度

スイスの湖沼中、最も透明な水を湛へてゐるのはレマン湖で、冬季の透明期には二・五メートルに達する。けれども夏季は、氷河から濁水流を湖に注入するので、激減して僅に四メートルにしか達しないこともある。その濁水流の注入するところは、湖中暫くの間濁水の霧を造つてをりこの湖の漁夫は、これをバトリエールといつて有名なものである。透明度が夏季レマン湖のやうに減少するものに、ブリエンツ湖や、ツウン湖がある。何れも上流に氷河を有し、甚しい不透明を來すのである。そしてフィルワルトステッテル湖は、現在、氷河の中心とは甚だしく遠隔してゐるので、濁水の影響は先づない。従つて、夏季不透明を來すことなく、却つて最大は夏季にあつて、一六・六メートルを測つてゐる。チューリッヒ湖もまた透明度は小であるが、これは主として、浮游生物の繁殖

に原因してゐる。

これ等スイスの湖は、何れも山間、または山麓にありながら、水色は餘り清冽ではない。それは透明度の小さい點からも想像される。それ等の中で、レマン湖やブリエンツ湖は、最も美しいといふことになつてゐるが、實際測つて見ると、フレール水色標準液の四號色（藍色湖）で

他のものはおよそ五五七號（綠色湖）に屬するものである。

これをわが田澤湖に比較して見ると、田澤湖は水色一號（藍色湖）で三九メートルの透明度を有し、到底スイスの湖沼の追随を許さぬものである。しかるに邦人のスイスに遊ぶもの、何れも口をそろへてかの地の湖の水色を讃美するが、かういふ人々はわが田澤湖をはじめ、俱多樂湖、十和田湖その他の多くは湖を知らぬからであらうか？

次にローヌ河が濁水をレマン湖に注入しても、漸次にそれを沈澱するので、ジュネーヴの市、モン・ブラン橋下を流れ去るときには、すつかり淨化されて藍を流すが如く眺められ、更に下流數キロの市外に行くと、こゝには東方からアルプ川が、モン・ブラン山塊の氷河から濁水を齎し、

形態や、高度の關係、或は種々なる關係で多少水温に異常はあるが、前述の通り熱帶湖に屬し、表面水温最低で四度を下らないのである。なほ水温成層の完成期には、何れの湖にも見るやうに、水温躍層を生ずる。これは表面から十數メートルのところで、僅の深度の差で水温が急激に下降する層である。スイスの大湖沼においては、大略深度一〇メ



望眺のルートバルサ
（スイス）

水温と水质

ローンの本流に注ぐものがある。けれども直ちに兩河の水は混合することなく、湖で淨化された水と濁水とが並んで、暫らくの間流れて行く態は、こゝでなくてはちよつと見出しがたい奇觀である。

水温については、それ／＼異つてはゐるが、その標式から見ると、スイスの大型湖沼は何れも熱帶湖である。これは熱帶地方の湖といふ意味でないことを附記しておく。先づ代表的なレマン湖の水温を見ると、その湖の表面水温は、夏季八月の平均で二〇度、また嚴寒の二月の平均は五・六度で、四度に下ることはない。そして湖底は常に殆んど同溫で、最大深度三一〇メートルの湖底における永い間の

測定中最高五六度、最低三・九度、即ち一・七度の較差を見たに過ぎないといふことである。その他の湖沼も、その湖盆の

質が置に中の官晶水は水湖む闇を峯巒のルートバルサ
（スイス）



夫農の一リペュシ
夫農の中山くよに具農のそにか御てつよに圖。それは窓くよが俗風の中山方地スイウス。
夫農の中山くよに具農のそにか御てつよに圖。それは窓くよが俗風の中山方地スイウス。
夫農の一リペュシ
夫農の中山くよに具農のそにか御てつよに圖。それは窓くよが俗風の中山方地スイウス。

一トルから一五メートルの間に存在する。そしてレマン湖では、この五メートルの間に、一メートルについて平均三・四度、またチューリッヒ湖では一・一二度の減を認める。

また狹長な形をなす湖では、その水温は湖首と湖尾とで、表面も湖底も相異つてゐることがある。これは風による湖流の關係もあるが、また次アルプスの湖沼は、注入河が上流から雪解けの濁流を齎らし、その水が湖に湛へてゐる水よりも比重が大なるため、次第に湖底に沈下して、水温に傾斜を來すこともある。しかし、これも湖尾に達するまでには、多くは混和して、最早や湖尾近くでは、その状態の認められないことがある。

この次アルプスの湖沼は、何れもその平均深度が相當大であるから、普通には冬季と雖も凍結しないのを例とする。しかし特に寒冷なる場合瀬岸帶の一部または全面に亘つての凍結も、絶対にないではない。即ち凍結の分類から見れば稀凍湖に屬するものである。その凍結するときは一、二月の頃で、平均深度の小なるものほどはやく水を見るは當然であるが、その期間は極めて短い。レマン湖の如きは全面凍結することは全くなく、特に寒冷なる冬季が數年間も續いて、湖の水が全く冷え切つた頃、更に酷寒の天氣晴朗な眞夜中に至り、始めてその瀬岸帶に一夜氷を結ぶに過ぎない。しかしこれとて、翌日の太陽の照射と共に間もなく消失してしまふのを普通とする。

これら化學的成分は、その含量概して多量で、一般にその固形物總量は水一リットル中一五〇ミリグラム以上を溶在してゐる。またレマン、ツウン兩湖の如きは硫酸鹽を、モラ、ブイエンヌ、ニユーシャテル、ツウゲ、チーリッヒ、ブーリルトステッテルなどの諸湖は、カルシームと炭酸が多く、前者は硫酸鹽湖、後者は炭酸鹽湖に屬してゐる。なほブリエンツ湖は固形分に乏しい硅酸鹽湖である。

レマン湖(ジュネーヴ湖)

その面積は著しく減じたが、なほ西歐の最として知られてゐる。深度もまた甚だ大で、海拔高度の零位に一致してゐる。従つてその容積即ち水を湛ふる量の大なることは勿論である。

今もし注入河の水を堰止し、湖の水を地中海方面に放出せんとすれば、裕に十箇年を要する。それほど多量な水を湛へてゐるのである。

湖岸よりサン・モリッ

ツにいたる面積八八キロに餘る大デルタも、近き地質時代には湖の一部であつた。そしてホール。

ブレー(谷の港)はその地名の示す如く、往時は湖畔であつたが、今では、湖畔を距る二キロにある。またビルヌーブ「新町」の住民は、プローヌ河の齎す土砂は、かくの如く湖盆を縮少しつゝあるのである。

湖の東岸上部ロー



女少のドウアヴ

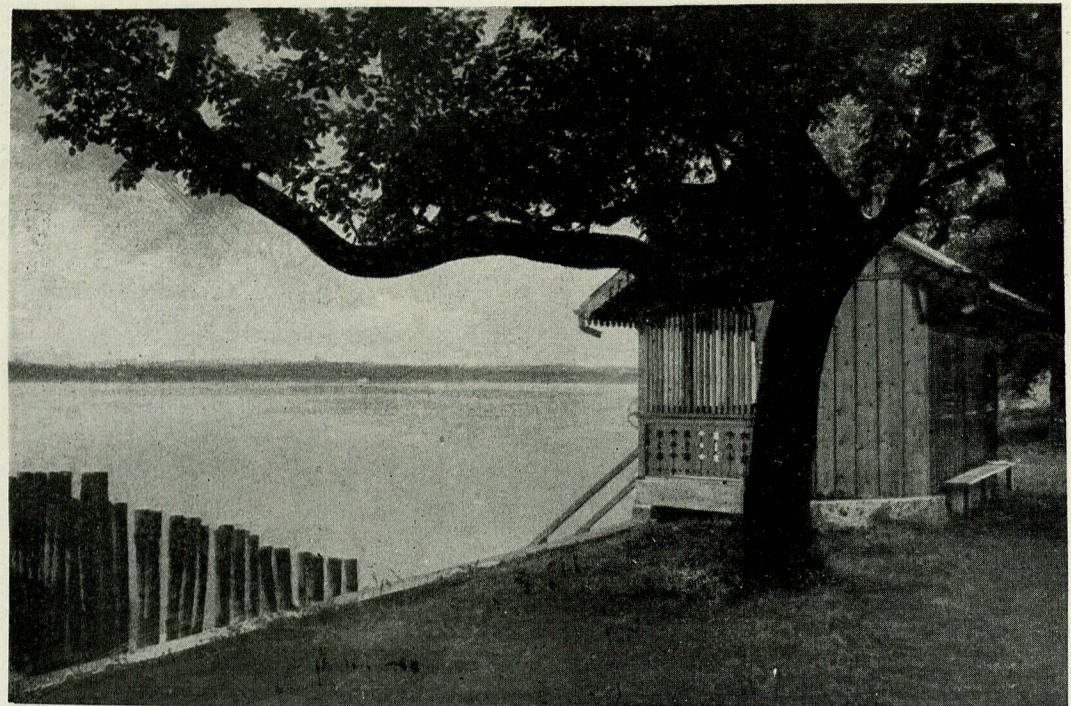
その状態は洪水時に目撃することができる。即ちローン河は多量な土砂を運搬してきて湖に注ぐが、その濁流は清澄なるレマン湖の水面に明かに認められるほどである。そしてその土砂の微粒は著しく沖にまで擴布されるので、湖底は著しく平坦になつてゐる。またその河流の力は甚しく河口より

一〇キロも沖まで、湖低には河道を存してゐる。

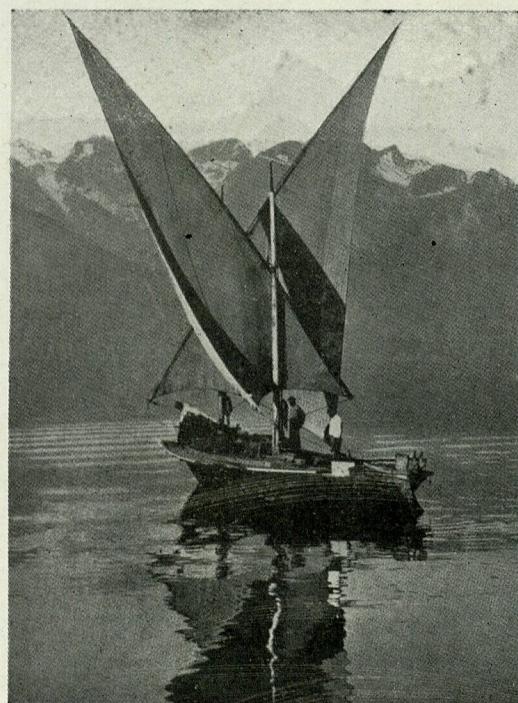
このレマン湖は長さ七二キロ、幅一三キロの新月形の湖である。

その東部は特に「大湖」と稱せられ、東に長く、この邊におけるアルプス山系の方向に一致してゐるが、西部の一小部は「小湖」といはれる。ジラの山系に沿うて、北東から南西の方向をとつてゐる。

それでその方向から繼ぐ一線で、この間は浅瀬があり、深度も六六メートルに減じてゐる。そしてこの兩水面の境は、南岸のイボアーレと、北岸のフロマントウとを



湖一タンウ
様謙くとごの繪影の白黒は木立の景前たつはを枝く強力。るみてめ祕を祕神の然自にか鶴てしなを線一は面水の湖一タンウ
るみてへ添を趣に圓半も杭ぐなつを船の前手。い白面で葉簡にうやの物建る見るよに本日なうやの堂祠は場着船の畔湖たま。るみて化



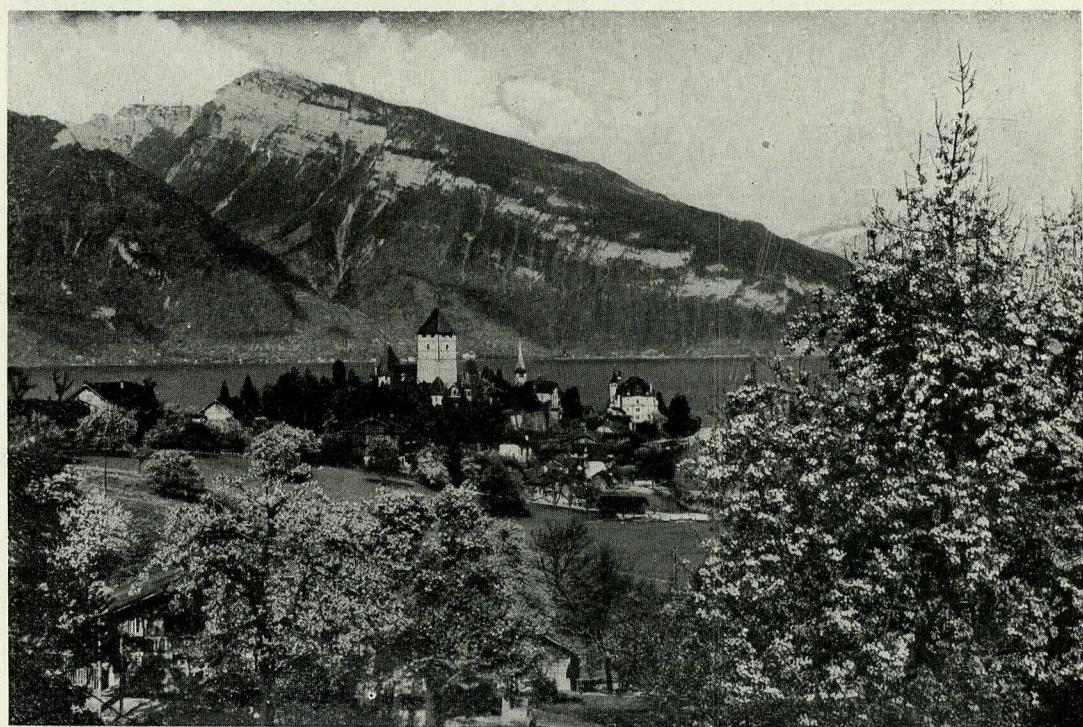
か 靜 水
映き輝々愈てし落を影いし美の畔湖。るあで湖な麗純は湖ンマレ
るあでのもの特...湖ンマレは船つも帆いし美にうやの繪もくしら珍のこ。るえ

ルに達し、小湖はニヨンの前沖で七六メートルに過ぎない。こ、から南するに從ひ、水面は狭くなり、且つ深度も小さくなる。また次第に流速を感ずるやうになり、ジュネーヴ附近では水草が流れに沿ってなびいてゐる。
大小兩湖間の淺水帶は、一つの水成堆積物の存在によるもので、往時ウルム期にあつては、この堆積物のために、大湖の水は阻止せられ、一條の出口によつて小湖に注いでゐたものである。そして小湖は更にニューシャテル湖に向つて排水し、他のスイスの湖と同じくライン河の水系に屬してゐたのである。が今はローヌ河がこの湖を貫流して、排水に地中に注ぐのである。

ヴィルヌーブ

湖畔に向つて緩く傾斜してゐるところには、古くからその風景と、温和なる氣候をしたつて集り来る人類で聚落が發達する。ヴィルヌーブはレマン湖の最上部、即ち湖首ローヌ河の扇状地の一端に開けた聚落で、水際に數群の人家を見る。こゝは一般旅行者の訪れる範圍よりはや、隔つてゐるので、知る人は餘りないが、既にフランスの文士が曾て別荘を構へたことがあるといふ。風景もまた餘り見捨てたものでなく、殊にその地形味あるところである。レマン湖の遊覽は、こゝから湖の北岸を辿つて湖尾のジュネーヴに行く。本篇に關係あるスイス國に屬するが故で、且つその南岸フランスに屬する區域は、特に記すべきものが少いからである。

ヴィルヌーブから北岸を辿つて西すれば、湖畔には黒ずんだ小さなピラミッド形の屋根が、



寂てればこき匂に面一が花はに々木たま。ろみてせか匂を花いし美は草小ぬら知ら名の畔湖にもととまれ訪の日の春 春のエセイビス
るみてせみを合配い白面たまい淡こ通を氣空な徹透は色の花と緑なからはやく遠。うやたせきを装なか暖に時一に色景の邊湖いしひ

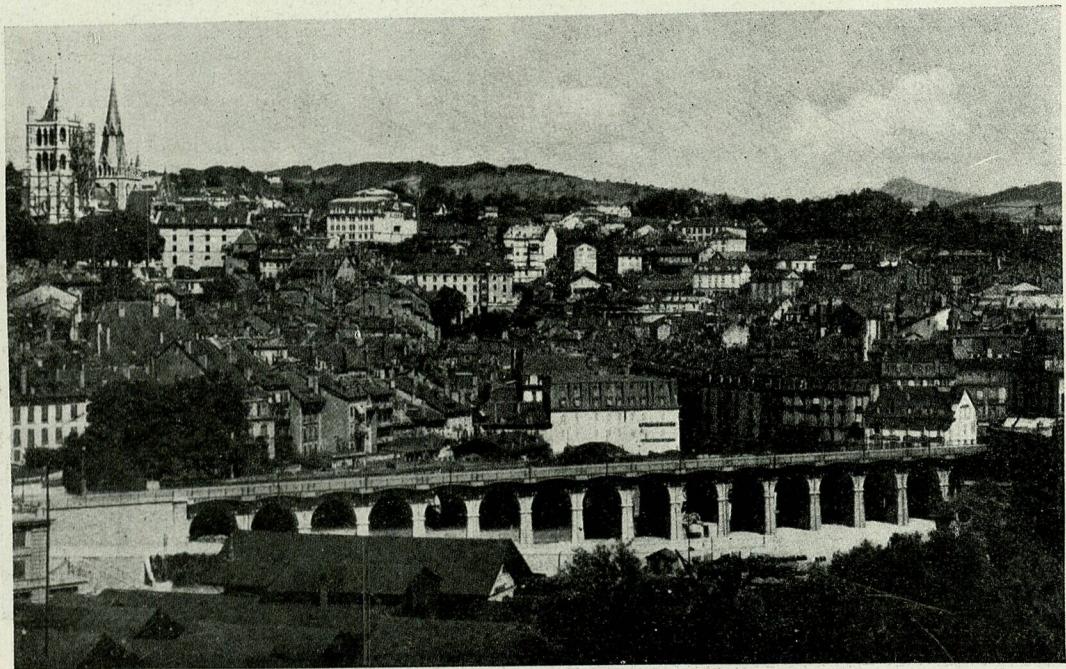
水に背を向けて、その壁面の太陽に輝いてゐるものがある。これはバイロンによつて歌はれたショーンの城である。この邊におけるゴシック建の唯一のもので、牢獄や、その他中世時代の薄暗い部屋などがあつて、その當時を偲ぶことができる。また壁面には鳩が鳩ひ繁り、古い時代の戦跡をも残してゐる。

そのボニバールの入つてゐた牢獄には石壁にバイロン、ヴィクトル・ユゴー、ジヨーン・サンド等の名が刻まれてある。トロウなどの大聚落が展開する。この邊はかなりに近代化してはゐるが、その近代化は日本におけるそれのやうに餘り附近の風致に悪影響を及ぼしてはゐない。立派なホテルや、イタリヤ式の別荘などが多い。ブランダ、尖つた屋根、黄色や赤の窓掛け、青い窓の戸、それから花で飾られた二階の欄干など、何れも調和よく、

るる。

水仙祭と葡萄祭

モントロウは、その附近の部落とともに、アメリカ式の速かな發達を遂げ、南



ヌンザーロ

街市新がい汚は街市舊。るあで都首の縣ドゥアヴィ高名で葡萄。街たつ立にブースの山い弛だん臨に湖ンマレはヌンザーロ。るあでいれきも路歩散も路街は

だ名有はとこたみに、こが等シロイバヤルテルオヴ。いよがめ眺の山と水湖りあも松樹や物建のろいろい。るあでいれきも路歩散も路街は

國から移し植ゑた棕櫚、ユーカリ・プチス、ゴムの樹などが繁り、その美しい庭の中に、殿堂の如き旅館や別荘が聳えたつてゐる。また散歩場は美しい花に埋められ、水面には白鳥が遊ぶなど、遊覧者をして飽かしめない充分な設備がしてある。こゝの水仙祭は著名なもので、清新な水仙をもち來り、乗物を飾り、また花合せなどをなして賑はふ。なほ進めばクラランスで、世界大戦に戦死したフランスの勇士の記念碑があつてこの邊の風景は實に勝てる。そして對岸にはローヌの河谷を望み、その後方には、ダン・ド・ミジ（南牙山）が聳えてゐるし、近くには一小島が浮んでゐる。白いイタリヤ式の別荘も、ちらほらとボプラの樹の蔭みに見られる。

ヌンザーロはスイスにおけるチョコレート製造の中心で、また練乳の製造が盛である。市街は相當榮え、交通もまた頻繁である。電車、汽車、汽船などが湖畔に沿うて交通の便を計るのみならず、後方の山地に向つても、登山鐵道が幾多續いてゐる。奥地との交通も極めて便である。そのうちでも、ローヌ・ド・ナエの山に登る線の如きは、殊に風景の佳いので知られ、多くの旅客を吸収してゐる。こゝは盛夏の候、なほ雪に埋れており、全く冬の景觀を呈してゐるが、脚下を瞰るときは湖面に向つて次第に夏景を呈し、得もいはれぬ鳥瞰である。またアバンの避暑地に至れば、春酣なるころ、香り豊かな水仙に陶酔するであらう。そしてこの水仙が、モントロウに行はれるかの水仙祭に供せられるのである。



春の訪問

花いしら愛な麗締てじそ。ふましてつ變に俄もにりまあがのたゐてしと涼莞でま今とるすくらばしてえ消が雪に岸のンマレ
くめざんさにび遊たび鄙ふいとどなせ合花りたつ飾を物乗でん摘を仙水な麗締。それは行がり祭仙水いし床も名頃るくてつ誇誘とろいろい

ローザンヌ

この地方の北岸一帯の丘地は、葡萄酒の產地で、賞ては一時ブルゴーニュ王國の一部であつたこともある。酒の名所であることはこの事實によつても明かで、實に平和な村が續き野の幸に恵まれた。そして景色の勝れた地である。この中部丘地の上に、天に高く聳えた會堂を中心へてゐるローザンヌは、近年外國人の好んで來住するところとなつたが、地形上から見るといつの商業の中心である。レマン湖畔の主要都市で、シンプロン鐵道の開通は著しい發達をこの地に齎したのである。なほ政治的に見ても一州の首府であるため、聯邦行政裁判所の所在地となり、文藝、學術の歴史をも有し、そしてその大學の圖書館は著名なものである。またこの地で珍とすべきは、一八九三年に設けられたホテル學校である。市街の主要な部分を離れて湖畔に行くと、そこにウシテの港がある。古い建物などがあつて、昔の面影を残してゐる。

けれどもこのローザンヌ市の有名になつたのは、それ等の各條件ではなく、歐洲大戰後各國がトルコを處分したローザンヌ會議によることが甚だ多いのである。このウシテの對岸には、フランスのエビアン温泉があつて、客を引いてゐる。大戰前には物價の關係で、ウシテまで物品の買ひ出しに來たものであるが、戰後フランスの物價暴落の結果は、特に用のないものの外訪つれるものは少ない。

ウシテから、更に湖畔に沿うて西すれば、ジュラの水平線を限る山頂が背景をなすところ、その前にモルジ部落がある。古い城の殘ることで知られるが、それよりも有史以前杭上生活者の聚落のあつたところでその遺物の發掘で著しく有名になつた。またこの遺物と、湖の風物の生んだ湖沼學の先覺

フォーレル氏の郷里で、且つ一生を過されたところである。

尙ほ進めば、葡萄園に圍まれたロールの町がある。

次はニヨンで、この邊りに

行くと、湖はその兩岸著しく接近し狭くなつて、こ

れより南の方は特に小湖の名がある。このニヨンより少しく内地に入ると、サン

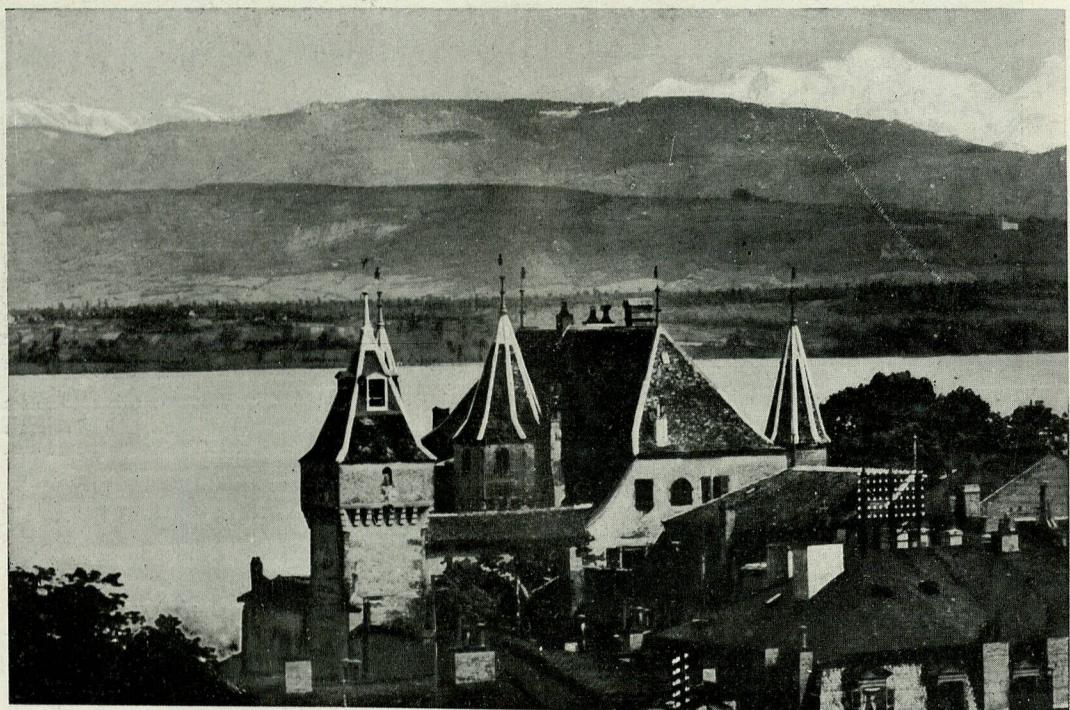
セエルグの峰が、ジュラの山塊を越えてゐる。こゝは重要の位置を占めてゐるので、嘗てはその麓にヌビヨ

ジユヌム（新城）のあつたところである。ニヨンの附近にはボプラに包まれて、プランギンの古城がある。

これは第十八世紀の建築にかかるもので、曾てナボレオン第三世の居城となつたことがある。

コッペには、ネカールが一七九〇年に隠退してよ

り、死に至るまで住居してゐた城址が残つてゐる。そ



のものにかい。あるあで町いよなか静はニヨニたし達發に畔の湖のンマレき清水、ぎ仰を峰峻のンラブ・ンモたい戴を雪の古千、街市ニヨニ

の娘ドス・タイル夫人はナボレオンに追はれてから、主としてこゝに住んでゐたのである。

ベルソワから少しく西南に入つたところに

フィルネイがある。フランスの文豪ヴォルテ

ールに私淑するモボ連の必ず訪れるところである。

ベルソワから少しく西南に入つたところに

のはこゝで、當時の立闈、寢室、或は家具な

ど、昔のまゝ、整つて古城の一隅にある。

ジユネーヴに到着すれば、湖畔には大バノ

ラマが展開し、背後丘上には會堂を中心にして

シテが併列してゐる。そしてその麓より湖畔

に向つて新市街が擴がつてゐる。この地はレ

マ・シ・湖の水が將に溢れてローン河となり、今ま

や流出せんとするところで、都市の發達すべ

き天然の地位を占めてゐる。そしてその地名

ジユネーヴも、銚子口の意味である。今國際的

都市として、その美しく手入れされた湖畔及

び公園には、大旅館や、大規模の別荘などが

建ち並び、またかの國際聯盟事務局も、これ

に並んで湖面に影を浸してゐる。

この地に生を受けたジョン・ジャック・ルーソ

ーの銅像は、銚子口の小島樹林の間に建てら

れており、湖畔近くに一勝地を形造り、また

湖面や公園の、綠の濃いかなたには、雪を頂

いたモン・ブランの連嶺が聳えて、筆舌に盡

し難い素晴らしい風景を展開してゐる。



四國湖の夕陽

な少の氣蒸水。ふましてれ忘も事何とるいみに陽夕でんす、たに畔湖。それはいもと湖國四は湖ルテッストルワーリフ。るゐてれさと間時の樂悅中日一く長も間時のそりな異と時昏黃な幻夢くじたわあの本日たまくる明くし美に段別は陽夕のそは地土のこい。

フィールワルトステッテル湖

スイス高原を灌漑するライン河の支流で、その中部を流れるのはロイス川である。この川はフィールワルトステッテル湖（四國湖）より流出してゐる。

フィールワルトステッテル湖は、スカンデナヴィヤの峠湖か、またはノルウェーの湖沼の如く、幾多の水道により、多くの支澗を連絡してゐる。或るものには水道により、或るものには直角に交叉してゐるが、地質時代には更に複雑な水面をなし、今その附近にあるソウグ湖、ローベルツ湖、サルネン湖、リュグレン湖なども、衛星の如く連絡してゐたのである。また或る時代には、人工をもつて水位を低めたこともある。

かく複雑なる湖盆は、その風景のまた複雑佳景なること勿論で、更に岩崖の屹立、水色の美、樹林と耕地と聚落との調和、加ふるに背景をなすものは、白燈々たるアルプスの峻峰、この湖を訪れたものの異口同音にその絶景を讃へ、スイス第一に推してゐるのも蓋然である。またこの湖を中心とする史蹟、詩歌その他の文献は、一層この湖を無上に著名ならしめてゐるのである。

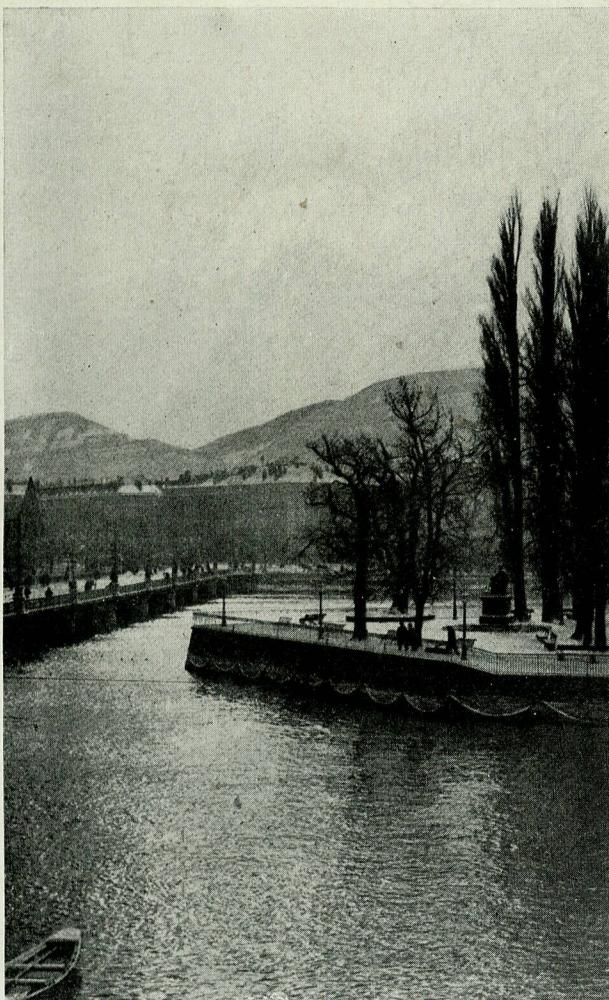
高山に囲まれた紺碧の水をもつこの湖は、古來底知れぬ深さのものとして恐れられてゐたものである。湖畔の漁夫に問へば千メートルまたは千五百メートルもあるといふ、それほど深さに見えるのである。けれども有識者が湖畔の地形から想像するときは、それほど深いものでなく、各湖盆はともに湖底平野も發達してゐる。ウリー湖で實際に推測したものを見ると、最深點は二〇五メートルで、大湖盆においても二六〇メートルを超えない。そして隣のツウグ湖は二八メートルにまで及んでゐる。かく比較的の湖底の平坦で、且つ案外淺いのは注入河川の齎す冲積物が多いことを證するもので、ハイム氏の研究によれば、最近十四年間に、上部ロイス川がウリー湖盆に運搬した土砂は、實に百萬立方メートルに及ぶと推定されてゐる。そしてその異常なる冲積作用は、ウリー湖の大デルタに見ても肯

「一」とができるのである。

ルツエルン支灣

汽船は橋を離れた。水面で振り返つて見れば、ルツェルンの市街は口くばに跨り、古雅な中世時代の面影を残した人々や尖塔の密集してゐるが、市街を歩いてゐるときは、却つて趣深く見られる。

十字形に開けた水面、その北東に

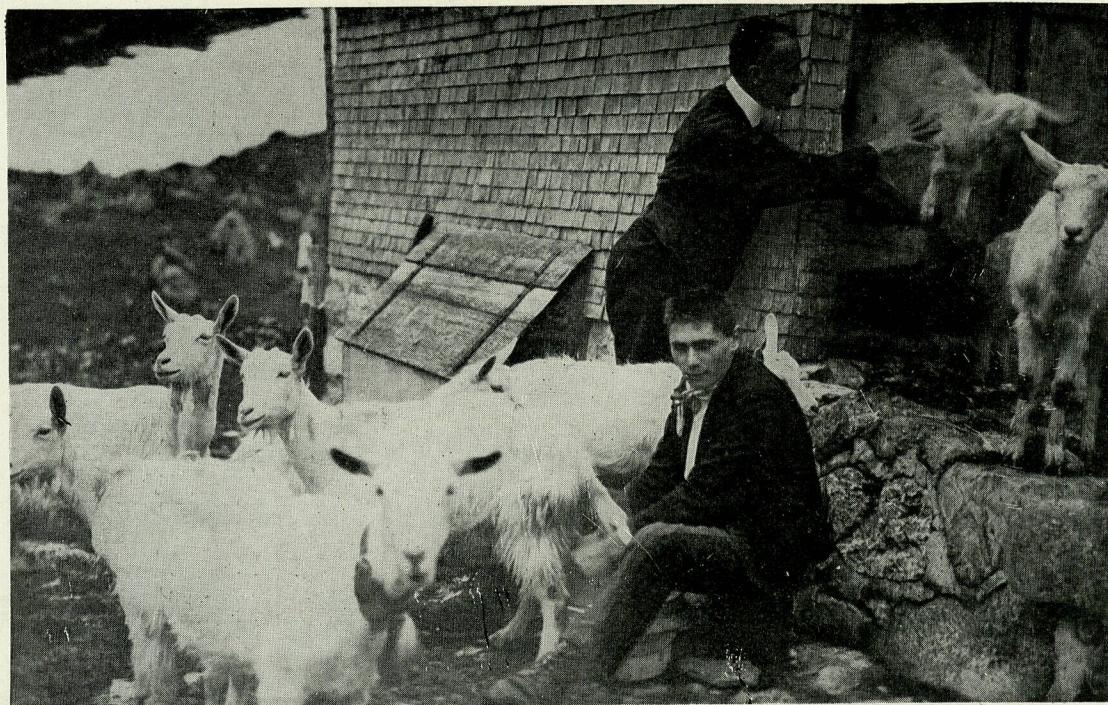


るどにか靜。るれら知でのいし美の水と山はゲーネュジ都の詩 都の詩
るみてば戀を聞のそてつ從にるお戀を咲は山の開闢でむ奏を樂音の言無はゆ

民家、その後に續く暗い森林、空氣は飽くまでも溼んで、實に素晴らしい風景である。そしてこゝに游ぶ旅人は、船の進行の餘りに速いことを恨むのが多い。

船の進むに従つて、木陰の多い小さな灣や、往時の森林の残とも見られる古木で掩はれた岩島などが順次に展開してくる。このルツエルン支湾を出ると、水面は十字形に開けて来て、前面にはリギ、ヒラットなどアルプス前山の高峰が聳えてゐる。夏の日の朝、または夕陽の西山に没せんとするころ、アルプスの連嶺に照射する陽光の美、紺碧の水と湖畔の鮮綠の牧野、果樹園に囲まれた

ルプがしばり好んで住居したところといはれてる。湖の邊にはキエ
ナナツバハの一小邑がある。こゝから遠からずにあるツウン湖の受水區域の
分水線に當り、ウイリヤム・テルの一小祠が、赤い樹木を戴いて樹木間に
その影を見せてゐる。こゝそウイリヤム・テルが代々くんがシユレルを射おほ
したところで、その祠の壁畫には、スイス建國の傳説を物語るものが多



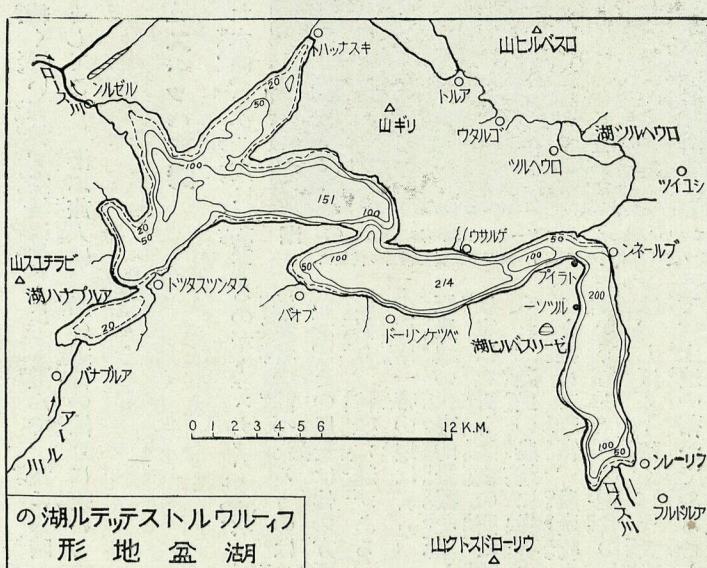
てれ連を等ければ夫牧とるなに頃ろえ崩とろそをが草岩て^ニ滑が雪にブルアで盛分隨が畜牧はで國諸らゝこたれま惠に山 るぼしを乳
るあでのす暮てつ追を墓位歳生てしうかへ方の上とる出が草に上としをろえ崩が草の方の中傾たし盡べ喰を方の下こしそる上へ山

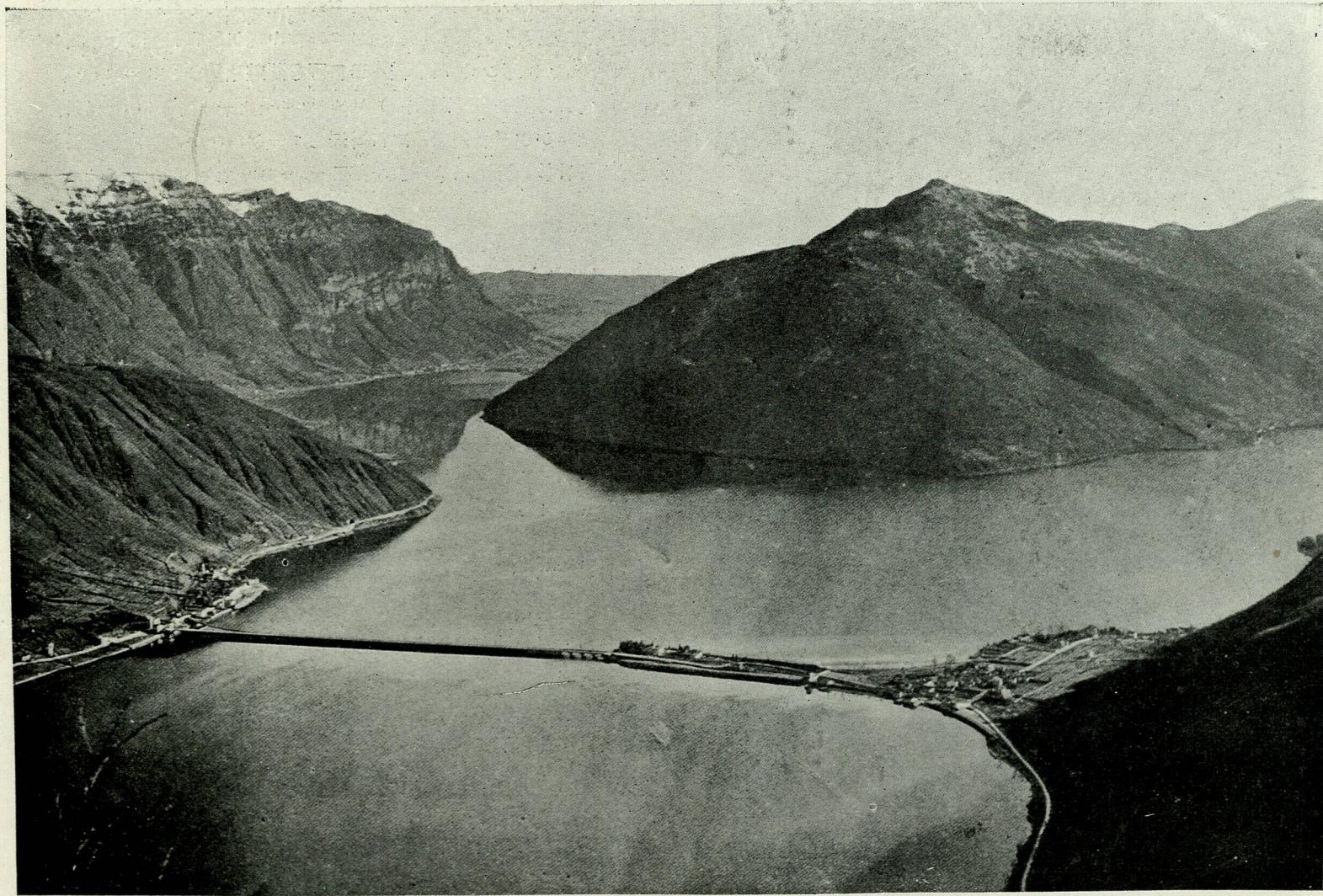
く記されてゐる。

アルプナツハ湖盆

キヌサナハの水面の長軸に沿うて、南西に進めば、やがてヒラットの山塊の蔭に當るアルプナハ湖に達する支灣に入る。船の進行に伴ひ、湖畔の風景は、次から次へと美しく變化して行く。そして建國の勇士ニコラフ、ドミンゴ、サンタ・マリヤ、アントニオ等の名前を冠した十數ヶ所の十字架は、同名の岬の尖端、松林のうちに隠見してゐる。

キヌサナハの水面の長軸に沿うて、なん西に進めば、やがてヒラットの山塊の蔭に當るアルブナッハ湖に達する支灣に入る。船の進行に伴ひ、湖畔の風景は次から次へと美しく變化して行く。そして建國の勇士ニコラ・フォン・フリュを記念する十字架は、同名の岬の尖端、松林のうちに隠見しである。





橋のデリメ
のルトーメ五七八は湖のこ。るあがうことた似と立橋の天の本日で噶砂の然自ぐなつを間村ナゾビと村デリメの湖ノガユリは橋のこで臨のデリメた見らかルトアヴルサ畔湖ノガニリスイウス部南。
○るあで繪の幅一に賓は色景の邊のこるめ蒼く碧空。るあで盛かなかなが引取のどな筆・紙・草煙・絹で地引取業商のヤリタイとスイウスは近附のこ。るみてつもをさ深のルトーメ四四九は所深最の湖てつあに所高。

泉のある一小部落があり、また湖の南東即ち湖首に當るところには、アルプナッハの小邑がある。湖の西岸の鐵道開通以前には、鐵道馬車で往復したベルシ方面からの旅客で、相當賑つたところである。

こゝを引返して、湖口のスタンダードに上陸する。その南東にはスタンスオーベルドルフの邑がある。人口は五千に満たぬ小さな市街ではあるが、またこの州は人口一萬五千といふ一村ほどの州ではあるが、立派な獨立國として存し、そしてこの邑は一州の首府として、政治の中心をなしてゐる。私のこゝを訪れたをり、州廳にて、この州の憲法『ウンテルワルテンニトハルト(森下の下森)州及び共和國』と記された書籍を得た。それでその代價は?と問へば、「政府は書店に非ず」とて扉を閉され苦笑したことが思ひ出される。

この國で面白く感じたことは議會である。「ランツクマインテン」といひ、別に議員がゐるといふでなく、州民全部がその召集に應じて、支障のないもの、みで野外に集まり、國政を議するのである。かかる習慣はスウェイの古い州には第十三世紀ころから行はれてゐたが、他の州はその後多くは廢止してしまひ、こゝにのみ最後まで残つてゐたのである。興味の多いことを發して、スタンダードより船に搭じ、フェエグギスの水面に向ふ。右手には島の如きブルゲンストック(八一五メートル)の山が東西に長く横たはり、その麓北斜面の水際に一寒村ケヘルシテンを見る。

フェエグギスの水面

リギ山塊と、ブルジンスタッフ山塊とによつて形造られた水面で、十字形水面の交叉せるところより、東方に長く灣入してゐるリギ山塊の岬端をなすところ、モーゼドリシュテル(鼠の窓)の小灣には、ニコラス・フォン・フリュの小祠が樹葉の間に白く輝いてをり、エルテン・シュタインは、美しい湖岸にある。それよりフェエグギス附近までは、實に心地のいい湖岸で、葡萄園や、牧野が連なり、黒味を帶びた木造の家屋には窓ガラ



等供子のスイウスに前み休夏のそだのる者がみ休夏いし樂。る來に盛が空暑避らか陸大カリメアらか匯各のパッローヨ 祭おの生學小るゐてしと一つの事行中年いし樂に様同とスマスリクてし稱と祭森をれこ。るあが貴習るすを足避へ園田てし列行い長てつま集に校學小は